

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和8年 第1回定例会)

質問順位	1 1番議員 工藤絵美子	
質問事項1	職員を守り抜く「ハラスメント防止条例」の制定について	
質問の要旨	<p>昨今、全国の自治体において首長や議員によるパワーハラスメントが深刻な社会問題となり、第三者委員会の設置や条例制定による再発防止策が急務となっている。</p> <p>本町は、現在の規程で対応可能としているが、規程の効力は職員に限定され、首長や議会、さらには町民からの過度な要求（カスタマーハラスメント）に対し、組織として職員を守り切る法的根拠としては極めて脆弱である。職員が心身ともに健康で、不当な圧力に屈せず公務に専念できる環境は、質の高い住民サービスの基盤である。</p> <p>条例化により、「ハラスメントを一切容認しない」という町の強い決意を内外に示し、第三者委員会の設置など実効性のある救済策を保証すべきと考え質問する。</p>	
具体的な質問 及び 質問の相手	<p>(1) 「基山町職員の職場におけるハラスメントの防止に関する規程」について概要を示せ</p> <p>(2) 過去10年間のハラスメントに関する相談実績を各年で示せ</p> <p>(3) 多様化するハラスメントから職員を十分に守る上で、現在の規程の課題を示せ</p> <p>(4) 将来的なリスク管理として、法的根拠に基づいた条例制定の必要性をどのように認識しているか</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>